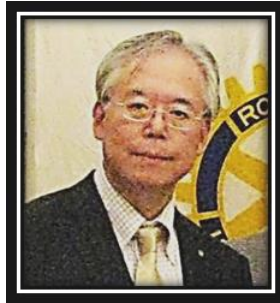




「お城を見つめ直す」

点 鐘 12:30 西牧会長
司 会 S.A.A・プログラム 宮澤クラブ管理委員長
斉 唱 「我等の生業」

黙 禱 西牧会長
内藤玄雄会員がご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り
黙禱を捧げます。



会長あいさつ 西牧会長

内藤会員が5月12日(金)午後突然なくなりました。5月13日(土)のお昼に松本城で交流会の準備をしている時に、内藤さんの最近の健康状態を心配する声も上がっている中報告があり、一同呆然としてしまいました。親族の動揺も激しく何も決まらない状態であったため、交流会の例会での発表は控えさせていただきました。5月17日(水)に法雲山龍興寺にて御長男の内藤龍磨様を喪主として密葬が執り行われました。奥様もまだ気持ちの整理がつかない様子でしたが、2年前に大改造をした庫裡の自室の椅子に座ったまま息を引き取ったとのことでした。

内藤玄雄会員は、松本城ロータリークラブには平成7年(1995年)4月4日の発足と同時にチャーターメンバーとして入会し、その後当クラブでただ1人無欠席であり、クラブの大黒柱になっていました。2006~2007年度にはクラブ幹事、2011~2012年度にはクラブ会長を務め、さらに国際ロータリー第2600地区では2016~2017年度の職業奉仕委員会委員長、引き続き2017~2018年度も就任予定であり、ロータリアンとして素晴らしい活躍をしておりました。今後もロータリアンとしてさらなる奉仕活動への貢献が望まれていたところでした。

また玄雄さんは松本深志高校21回生であり、高校3年生の時にあの穂高岳独標での落雷事故で11名の同級生を失っております。僧侶という職業に加え、そんな経験が玄雄さんの優しさに繋がっていたのでしょうか。

私もロータリアンの奉仕活動、また残されたご家族に対して、霊山浄土から仏となって、守護せらんことをお願いします。どうぞ安らかに眠りください。

幹事報告 藤田幹事

①内藤玄雄会員ご逝去。

内藤玄雄会員(享年66歳)が、5月12日(金)に急逝されました。5月17日(水)午後2時から法雲山龍興寺にて、喪主 ご長男の龍磨様により密葬が執り行われまし

た。本葬は龍磨様のご住職になられてから執り行われます(日時未定)。クラブからは香典、供花を呈しました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

②本日例会終了後、定例理事会・クラブ協議会(現・次期合同)開催。

③各RC例会変更のお知らせ。

[塩尻北RC]6月1・29日(木)休会(クラブ定款)、6月22日(木)移動例会(夜間例会;1年を顧みて)／[松本南RC]6月5日(月)移動例会(6/2北海道家族旅行)、6月19日(月)移動例会(夜間例会;納会)、6月26日(月)休会(クラブ定款)／[大町RC]6月7日(水)移動例会(夜間例会;白馬RCと合同例会)、6月21日(水)移動例会(夜間例会;黒部観光ホテル)、6月28日(水)移動例会(くろよんロイヤルホテル)／[松本RC]6月8日(木)移動例会(丸の内ホール)、6月15日(木)夜間例会、6月29日(木)休会、7月13日(木)夜間例会(松本館)／[松本東RC]6月9日(金)移動例会(夜間例会;納会)、6月23日(金)休会(クラブ定款により)／[塩尻RC]6月16日(金)移動例会(夜間例会;納会)、6月23・30日(金)休会(クラブ指定)／[松本空港RC]6月19日(月)移動例会(納会)／6月26日(月)休会(クラブ定款)／[木曾RC]6月20日(火)移動例会(夜間例会;納会)、6月27日(火)休会(クラブ定款)／[松本西南RC]6月21日(水)移動例会(夜間例会;納会)、6月28日(水)休会(クラブ定款)／[あづみ野RC]6月28日(水)移動例会(夜間例会;納会)

出席報告 山崎クラブ管理委員

会員総数21名(内出席規定適用免除欠席者3名)
本日の欠席者5名(他2名は事前メイキャップ済)
出席率72.22%

前々回(5/10)修正欠席者4名 出席率77.78%

ニコニコボックス報告 山崎クラブ管理委員

コメント ◇内藤会員の御冥福をお祈りいたします。西牧君 ◇お城名RC交流会は無事終了して、お疲れ様でした。藤田君 ◇6年に1度の当クラブ主催お城名RC交流会、皆様のご協力が無事行う事ができました。謹んで御礼申し上げます。内藤会員の御冥福をお祈り申し上げます。宮澤君 ◇お城名RC交流会御成功お目出度うございました。上條君 ◇今回のお城名RC交流会とても楽しく盛り上がり良い会でした。また書道のパフォーマンスの学生さんは雨のなか、本当にありがとうございました。井筒君 ◇お城名RC交流会、無事に終わって、本当に良かったですね。皆様で御苦労様でした。それ以上に内藤様のご急逝に際し、本当に残念です。心よりご冥福をお祈り申し上げます。山崎君 ◇新年度計画、しゃかりきに作りました。“変化をもたらす”というRIテーマに即しています。宮坂君 ◇御嶽海、崖っぷちです。皆んなで応援しましょう。塚本君 **なんとなく** ◇征矢君 ◇櫻井君

～ プログラム ～

《会員卓話》「私と松本城」 征矢芳友会員

私は、松本市征矢野というところに生まれました。幼いころの松本城の思い出といえば、1回家族で行ったこと、遊園地があって遊んだこと、小学校か中学校で写生に行ったというくらいです。ところで、「征矢」とは、戦闘に用いる矢。尖(とがり)矢(『三省堂大辞林』)のことをいいます。



「征矢野」の地名は、征矢野公民館にある碑によれば、「古代に信濃の国から朝廷に梓弓が献上されたが、その弓に用いられた征討の矢(征矢)がこの地でつくられたという伝承による。」とのこと。

ザ・ベストテンという歌謡番組がありました(1978年1月19日から1989年9月28日までTBS系列局で、毎週木曜日の21:00～21:54に生放送されていたTBS製作)。中学校2年のとき、松本に松田聖子が来ており、松本城から生中継をするらしいとの情報が入り、友達数名で、夜、松本城へ行きました。既に大勢の人が来ており、松本城のお濠を取り囲むように人垣ができていました。ただ、肝心の聖子ちゃんがどこから出てくるかの情報をつかんでいる者はいないらしく、我々は、人垣が比較的すいていた、松本城西側の埋橋の近くに陣取って、その時が来るのを待ちました。すると、ふいに埋橋方向が明るくなり、いつの間にか聖子ちゃんが橋の上で歌い始めたのです。調べたところ1981年5月28日のことで、歌った歌は「夏の扉」、順位は「2位」だったようです。

その昔、旧長野地方裁判所松本支部庁舎は、松本城二の丸御殿跡にありました。昭和52年(1977)に松本地方裁判所が現在の位置に新築され、翌年には旧裁判所庁舎が解体されることとなりました。このとき「松本市の文化財を守る市民の会」が結成され、旧裁判所庁舎の保存運動が活発におこなわれました。市民の会は財団法人日本司法博物館を設立し、旧庁舎を移転して公開展示をしたい旨市へ申し入れを行い、また法人設立のための寄付金の募集などもおこなわれました。この熱心な保存運動の結果、市は旧庁舎復元を考慮して解体をおこない、この解体された庁舎は市民の会へ無償貸与され、島立小柴に移築復元がおこなわれ、日本司法博物館となったのです。その後、平成14年に、松本市が運営を引き継ぎ、現在は「松本市歴史の里」となっています。

明治41年、松本城二の丸御殿跡に建てられた裁判所は、内部・外部ともに完全な形で国内に唯一残る、明治憲法下の和風裁判所で、長野県宝に指定されています。松本城も市川量造ほか、市民の力で取り壊しの危機を免れたことは有名な話ですが、古い建物を大切にす松本市民の気質にあらためて感銘を受けました。

《会員卓話》「私と松本城」 山崎圭子会員

～松本神社 松姫伝説をめぐる～

松本城の北隣に位置する松本神社、そこに祀られている松姫の色々な噂を以前から聞いていたのですが、真実なのかこの機会に調べてみよう、今回の題材に致しました。



それは「松本神社にカップルで行くと別れる」という噂です。また「神社のお祭りは雨が降る。姫の恨みで雨が降る」と子守唄にも歌われています。

松本神社に祀られている松姫というお姫様は徳川家康の異父妹にあたる人で、あまり器量が良くなかった。この事をふびんに思った家康が家臣の松本城主 戸田康長に松姫を嫁がせた。しかし、夫の康長に相手にされず、世をはかなんで松本城のお堀に身を投げたとか。あるいは康長が松姫を外に出すことを嫌い、薄暗い乾小天守に幽閉したとか。だから、松姫を祀った松本神社へカップルで行くと、松姫が嫉妬して別れさせるという内容です。そこで松姫の生い立ちから、松本神社のことを調べてみました。

松姫は徳川家康の生母 於大の方とその再婚相手の久松俊勝との子であり家康の異父妹に当たります。この松姫が正室として嫁いだ戸田康長ですが、戸田家は古くから徳川家に仕えた三河二連木(豊橋)の城主で、戸田康長は父を幼くして亡くし、家康はこれを哀れみ、6歳の康長に家督相続を許し、妹の松姫(当時5歳)を許嫁にしたのでした。

また松姫は24歳という若さで二連木城で亡くなってしまい、夫の康長が松本城主になったのは、松姫が亡くなって29年後のことなので、松姫は実際には松本には来たことがなかったのです。松姫と康長の間には永兼という子が生まれましたが、永兼は体が弱かったので、家を継いだのは母親違いの弟康直でした。その後、永兼は役職に就くこともなく40歳で亡くなりました。

弟康直が戸田家を継いだころから、戸田家には様々な不幸が起きました。弟は、大名になれなかった兄永兼の怨霊のたたりではないかと恐れ、これを鎮めるために兄を霊社に祀りました。この霊社が暘谷(ようこく)霊社です。永兼のたたりは、我が子が大名になれなかった正室松姫の悔しい思いが怨霊となって引き起こしたと言われるようになり、永兼の神号暘谷大神が松姫のことであると信じられるようになったのでした。その後、正式に松姫が、また戸田家の先祖と家臣も併せて暘谷大神社に祀られ、5つの神が祀られるようになり「五社」と呼ばれていました。更に昭和28年に松本城のなかにあった若宮八幡宮が境内に遷宮され松本神社と改められました。

以上の事実から、松姫は決して不美人ではなく、夫康長とも仲が良かった様です。只、我が子 永兼が病弱で家督を継げなかった悔しさは残り、それが後々まで色々な言い伝えと残って来たのだと思いました。

ちなみに、松姫の遺骨は二連木(豊橋)の全久院に葬られています。

点 鐘 13:30

西牧会長

6月7日例会プログラム/会員卓話